



発行：国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所
電話025-774-3015

ダムつ湖

vol.45

(令和4年冬号)

ここは、今年の10月30日に開催した
”とくべつなダム見学会“ 特別案内ルートの
「鉄管路」区間じゃ。
太い管には発電に必要な水が流れとるんじゃ。



管理所ホームページ

洪水対応を振り返って

- 三国川ダムは、以下の4つの役割を担っています。
① 防災操作 ② 流水の正常な機能維持 ③ 水道用水の確保 ④ 発電
- 三国川ダムは、梅雨期や台風シーズンである6月から9月までを洪水期間と定め、大雨による洪水（ダムに流れ込む水量が毎秒80m³を超える出水を洪水と定める）に備え事前に貯水位を399.5mまで下げ洪水を貯め込み、下流河川の流量を低減させて洪水被害の軽減を図ります。
なお、洪水が発生した際にダムに水を貯め込む操作を「防災操作（別名：洪水調節）」といいます。
- 今年の洪水期間に洪水が起きた回数は7月13日の1回でした。
その際、毎秒約110m³の水がダムに流れ込み、最大毎秒58m³の水を溜め込む防災操作を行いました。

【ダム周辺で開催されたイベント】
今年も三国川ダム周辺で
雄大な景色を生かした
サイクルイベントが開催
されました。

令和4年9月19日



選手が優勝を目指し駆け抜けた
“南魚沼ロードレース”

令和4年10月2日



サイクリングと食を楽しむ
“南魚沼グルメライド”

～ とくべつなダム見学会を開催しました ～

平成4年10月16日の竣工式から30周年を迎えた三国川ダムをもっと知ってもらうため、10月30日に「とくべつなダム見学会」を開催しました。通常のダム見学では見ることのできないダム内部を公開し、また、緊急放流などを知らせる警報試験等を行いました。警報試験に先立ちセレモニーを行い、南魚沼市長からの祝辞、抽選会により選ばれた方からのサイレン吹鳴起動、最後に記念撮影を行いました。同日には、東北電力(株)による「五十沢第2発電所見学会」しゃくなげ湖畔を楽しむ会による「紅葉ウォーク」が行われました。

【 南魚沼市長による祝辞 】



【 抽選会の様子 】



【 記念撮影 】



【 特別案内ルートの見学 】



【 ダム天端上の見学者 】



【 警報試験で使用したサイレン 】



【 同日の開催イベント 】



(五十沢第2発電所 見学会)



(紅葉ウォーク)

【 管理所4Fベランダからの景色 】



とくべつなダム見学会の来場者数は、340名となりました。
ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた三国川沿いの皆様
関係者の皆様、ありがとうございました。
今後も日々のダム管理、備えに精進してまいります。
よろしくお願いいたします。

